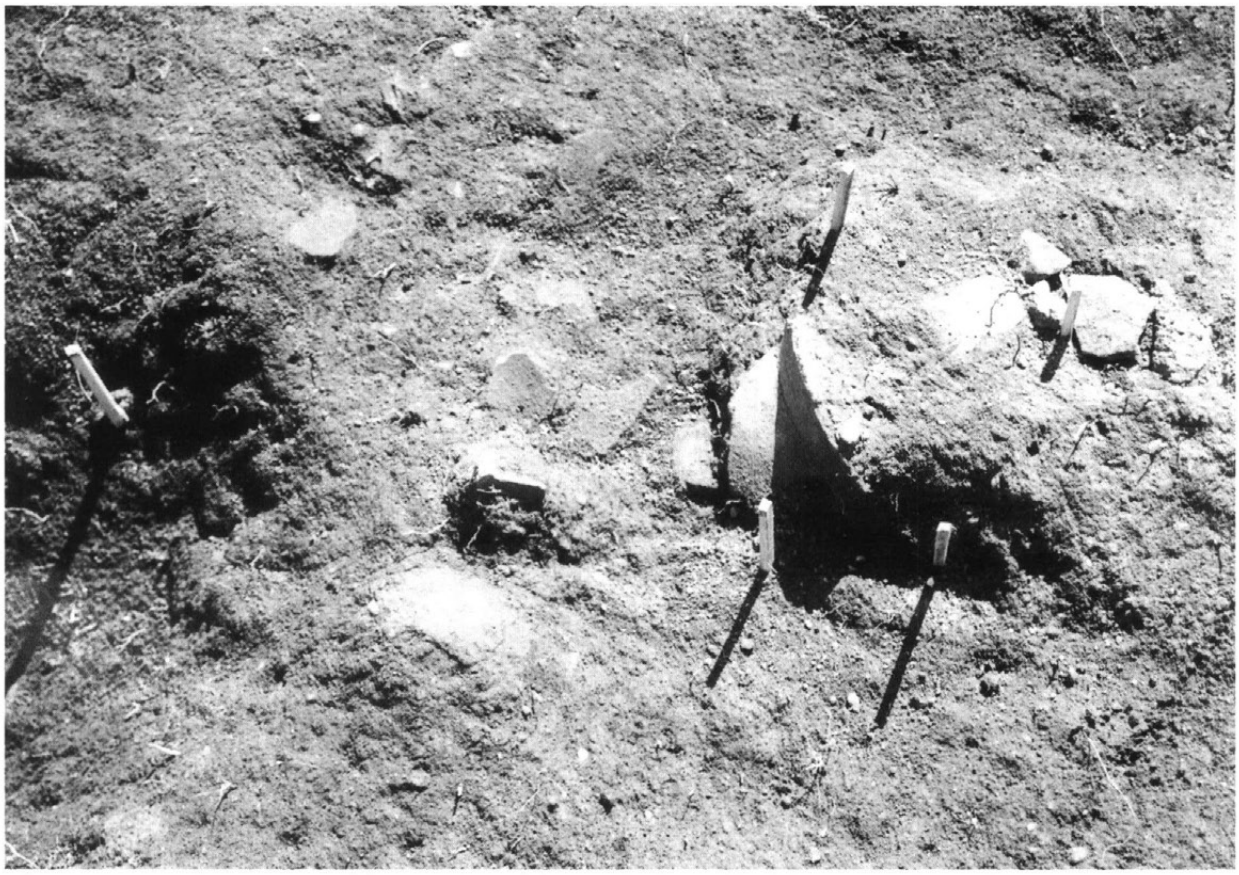
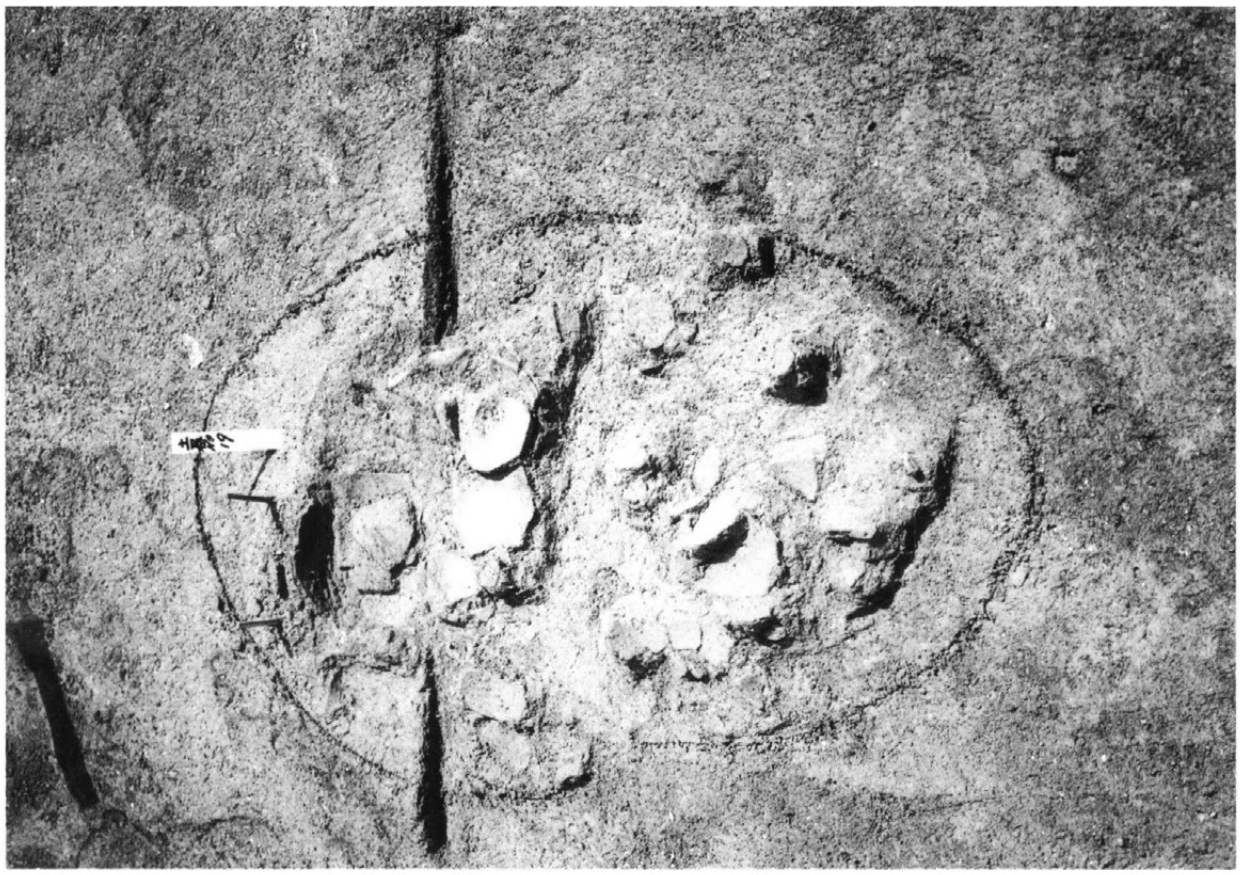
写図30　祭器No.16出土状況と土器



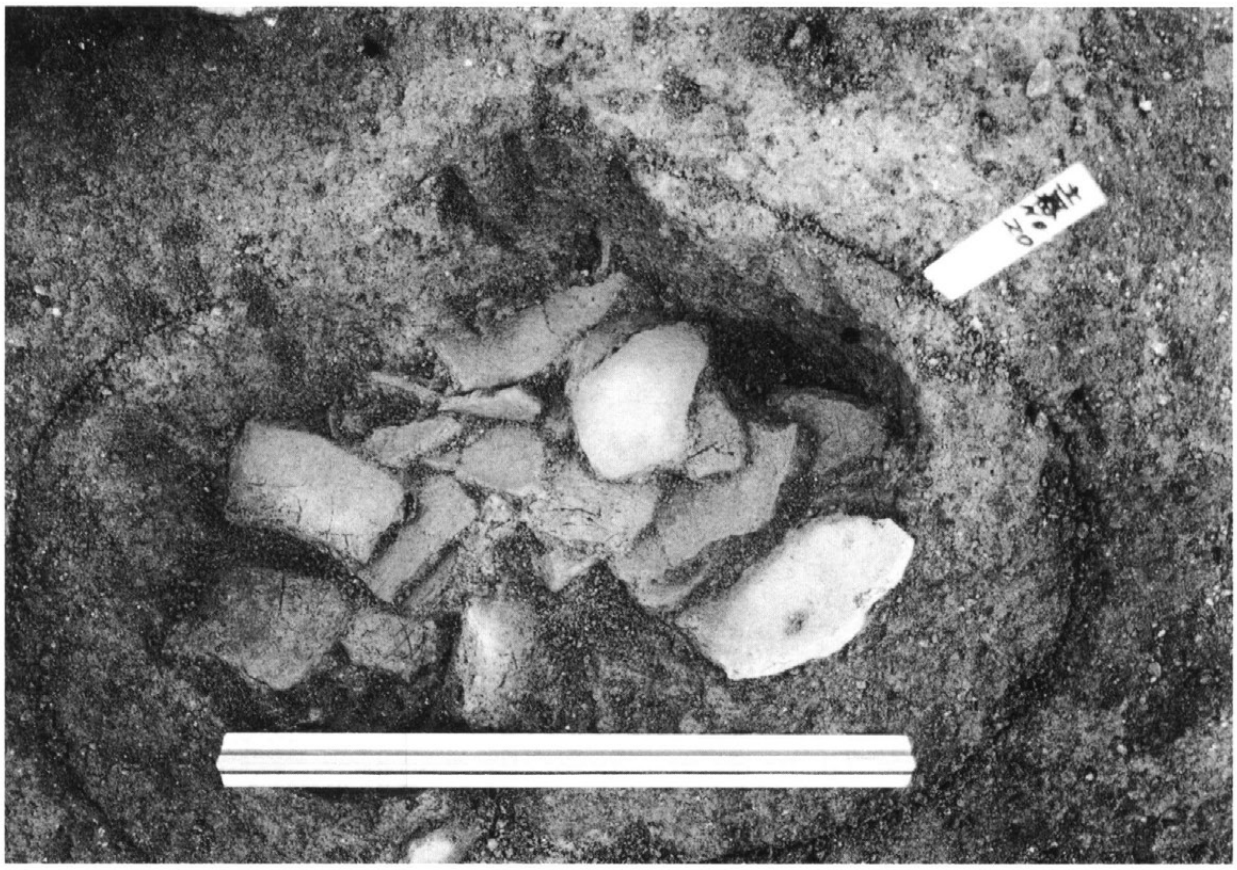
写図31　祭器No.17出土状況と土器

砂の中に埋まっている

写図32　祭器No.19出土状況

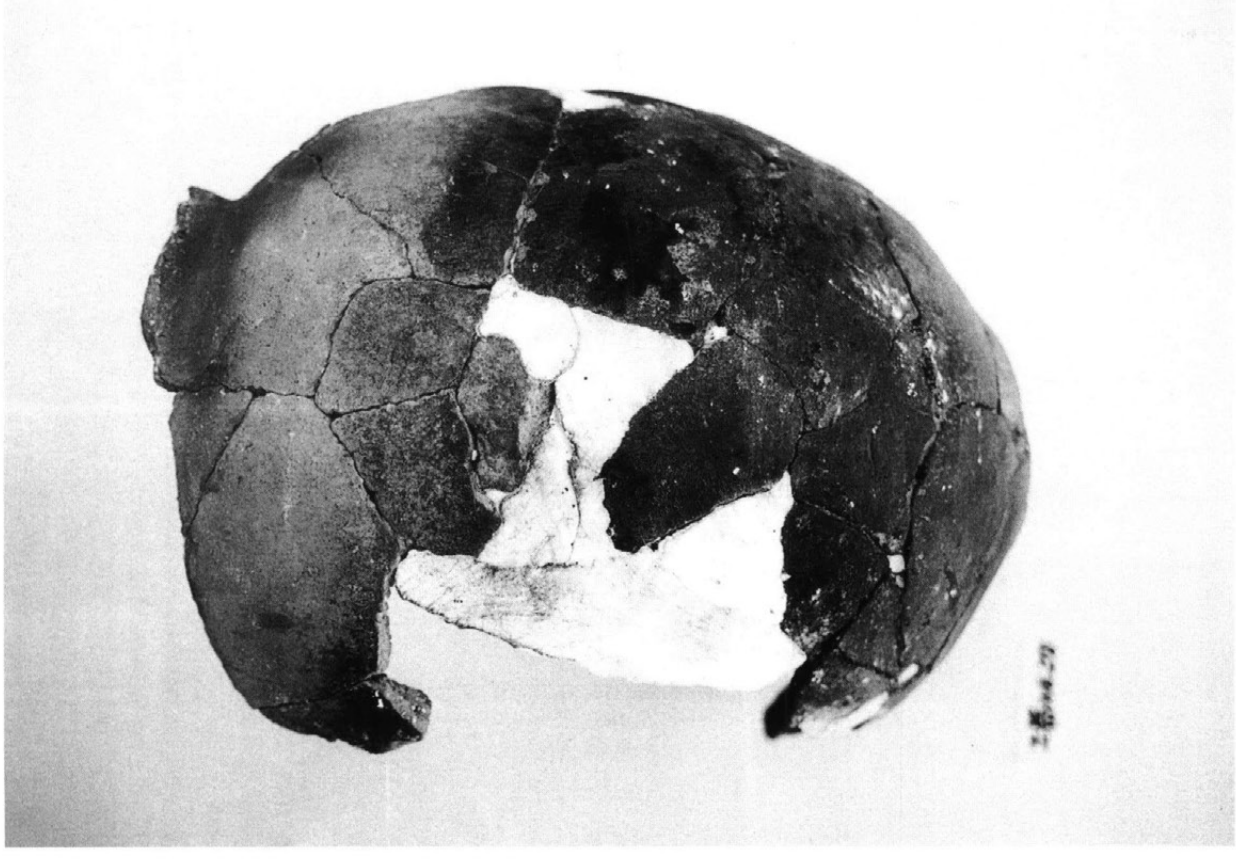


黄粘質土に埋まっている

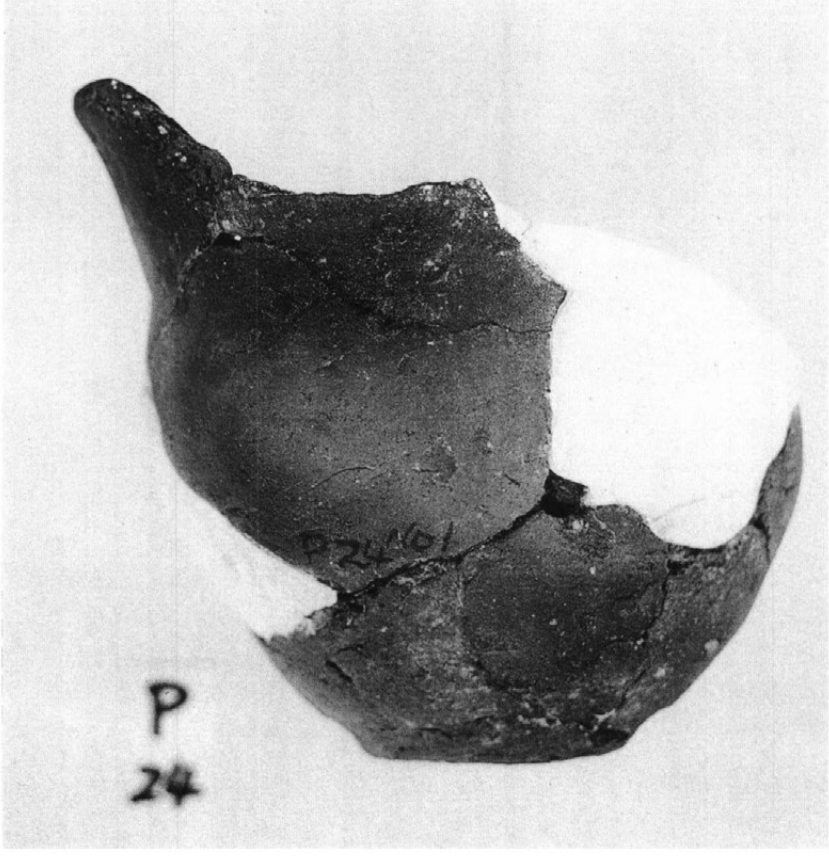


写図33　祭器No.20出土状況と土器

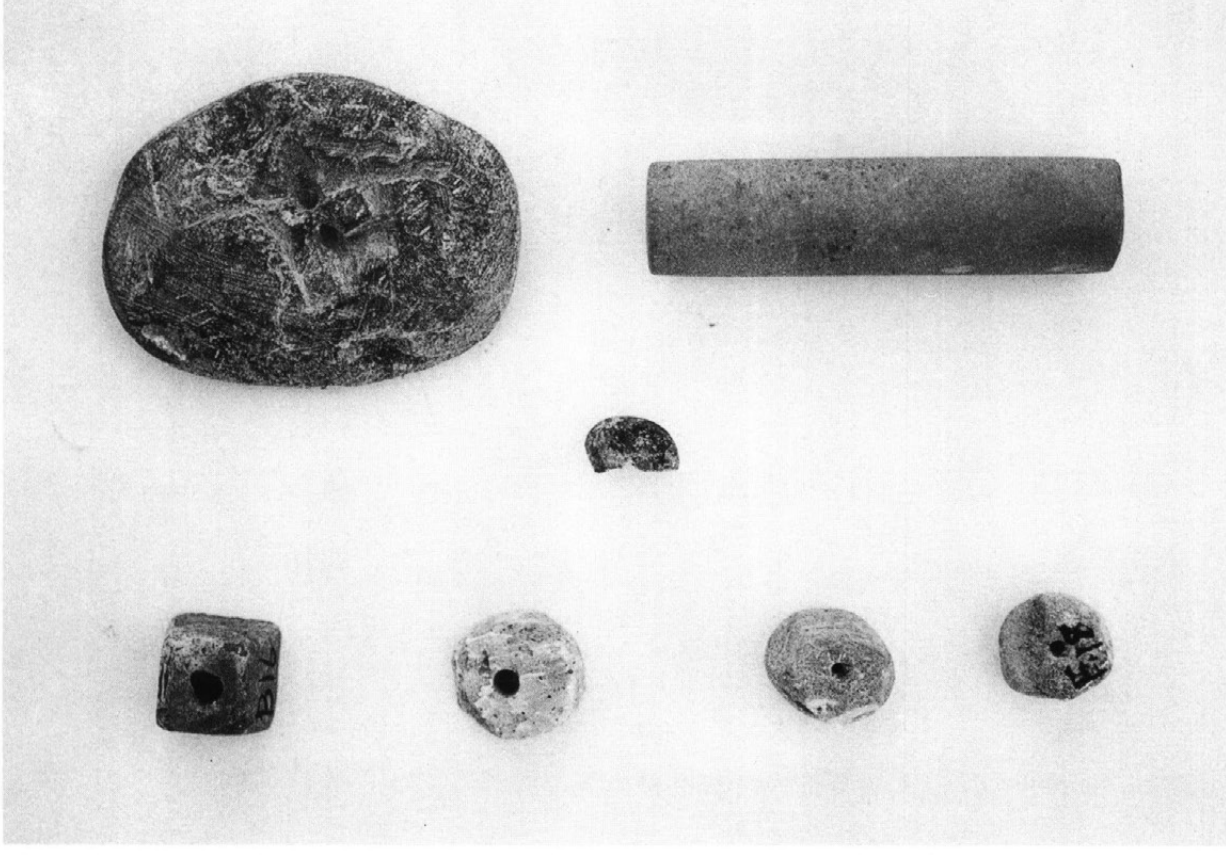
写図34　祭器No.22出土状況と土器



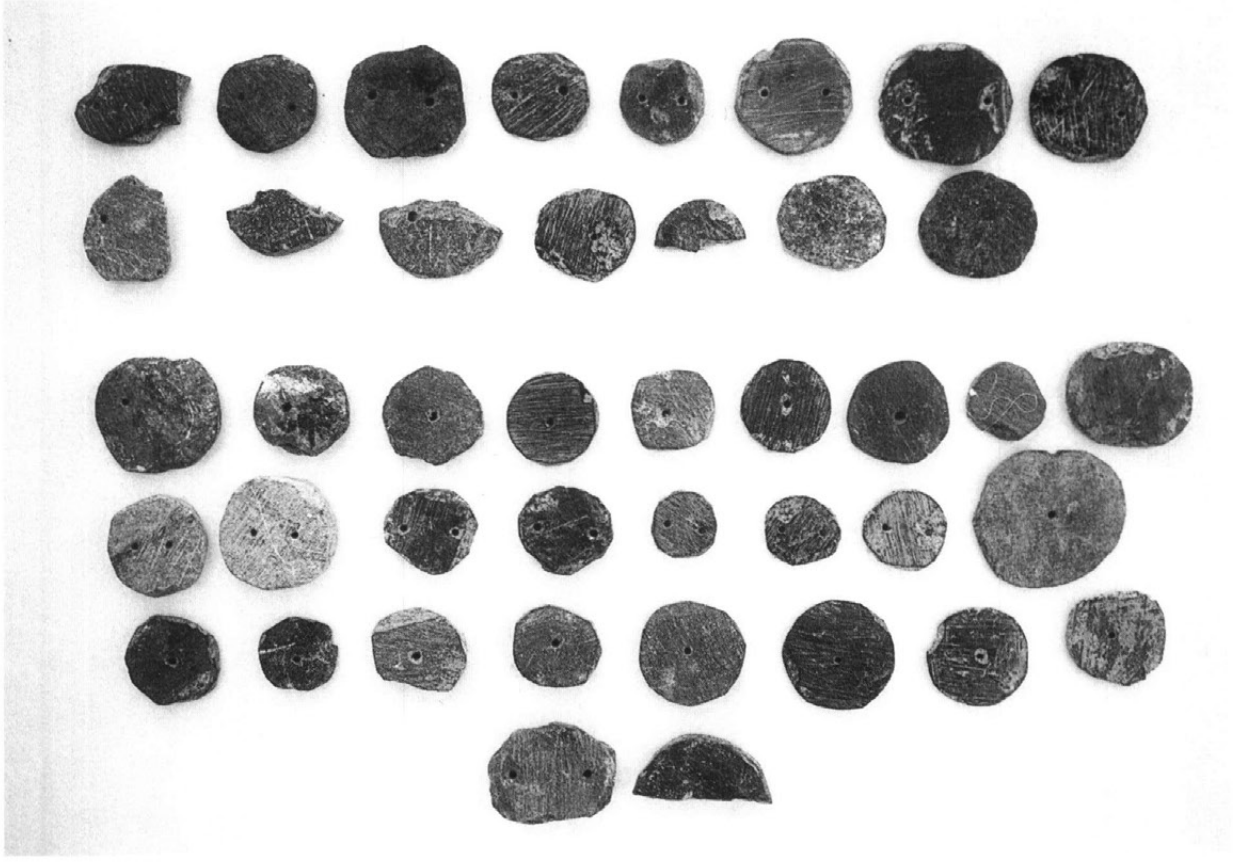
写図35　P24出土土器

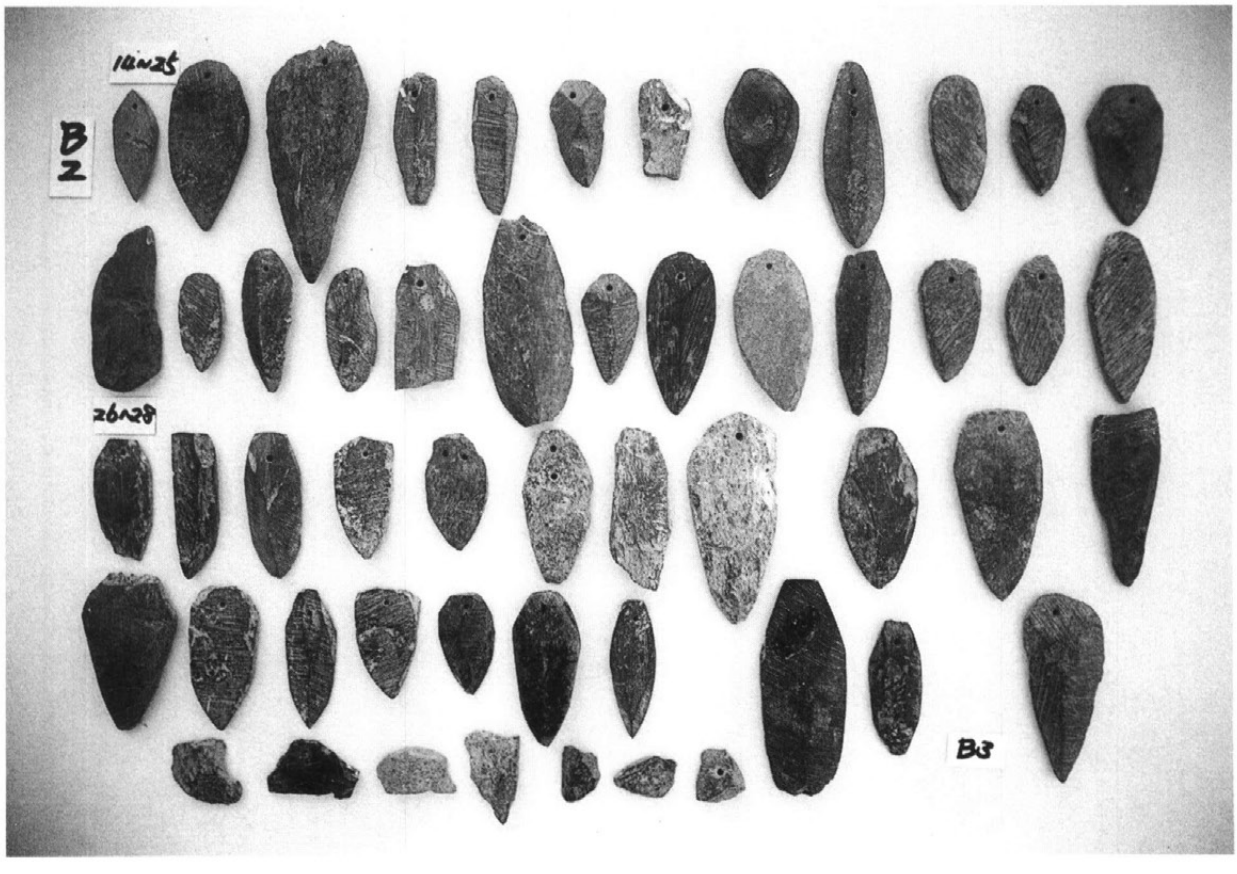


写図36　石製模造品(1)　―勾玉・鏡・管玉・ガラス玉・角玉―

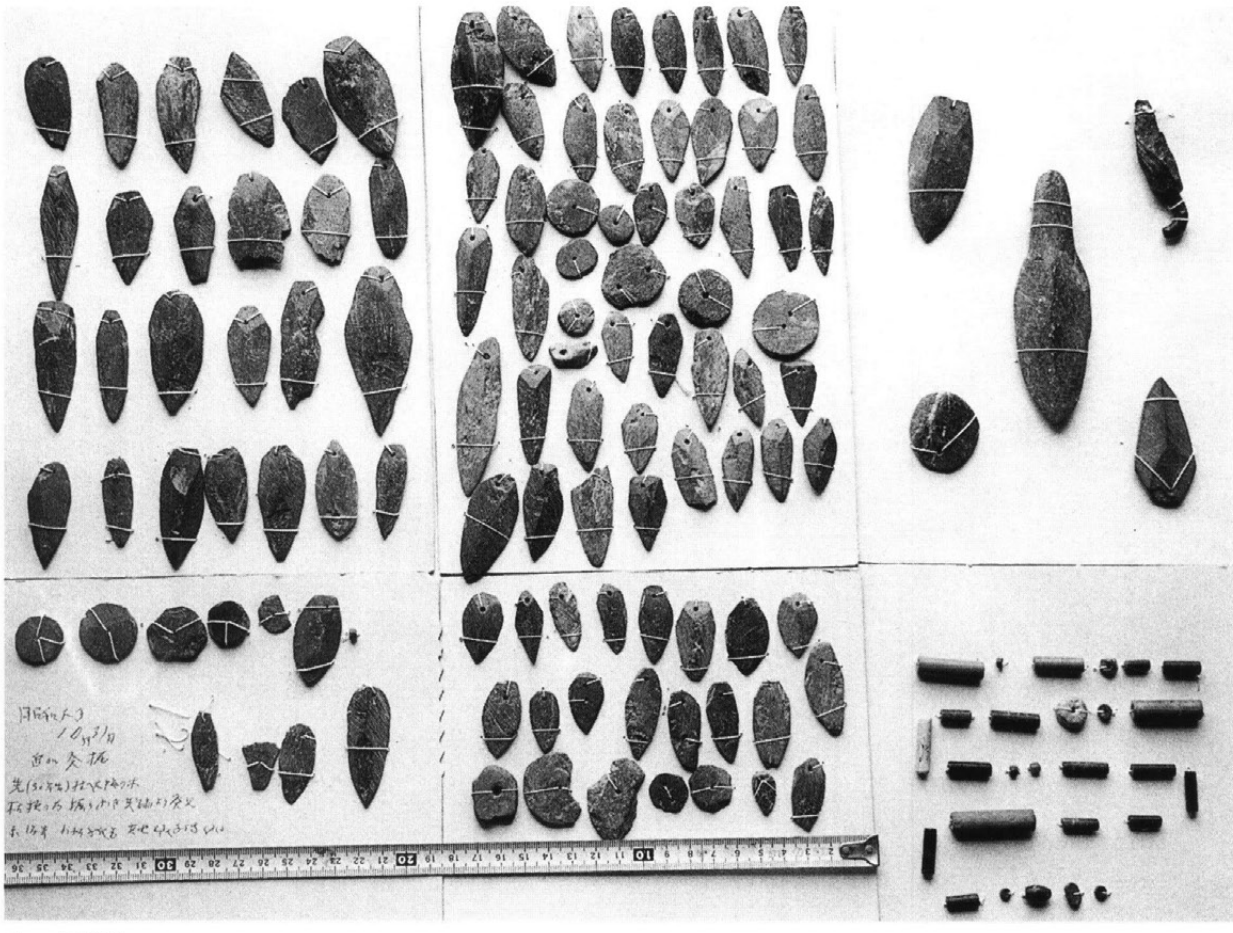


写図37　石製模造品(2)　―円板・剣形―

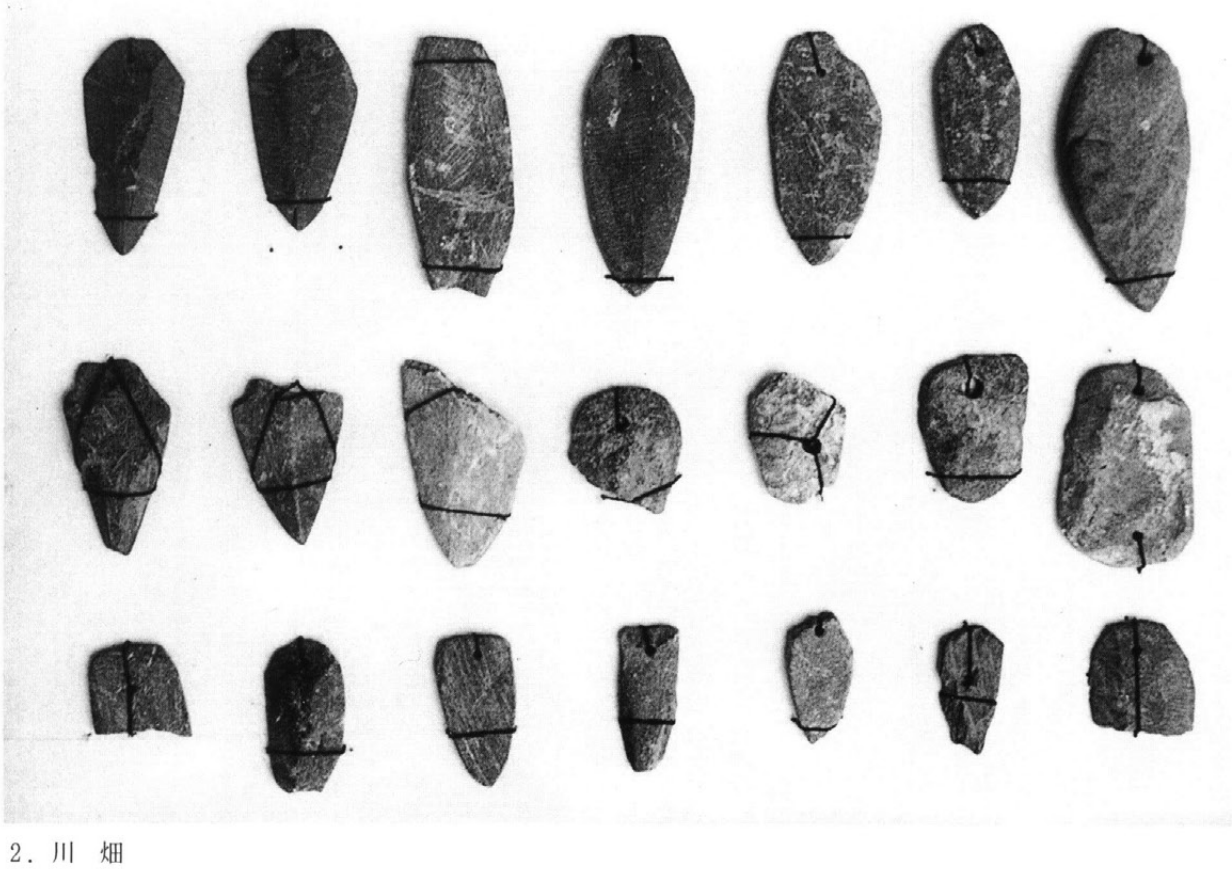




写図38　石製模造品(3)　熊谷千昭氏蔵・川畑遺跡出土

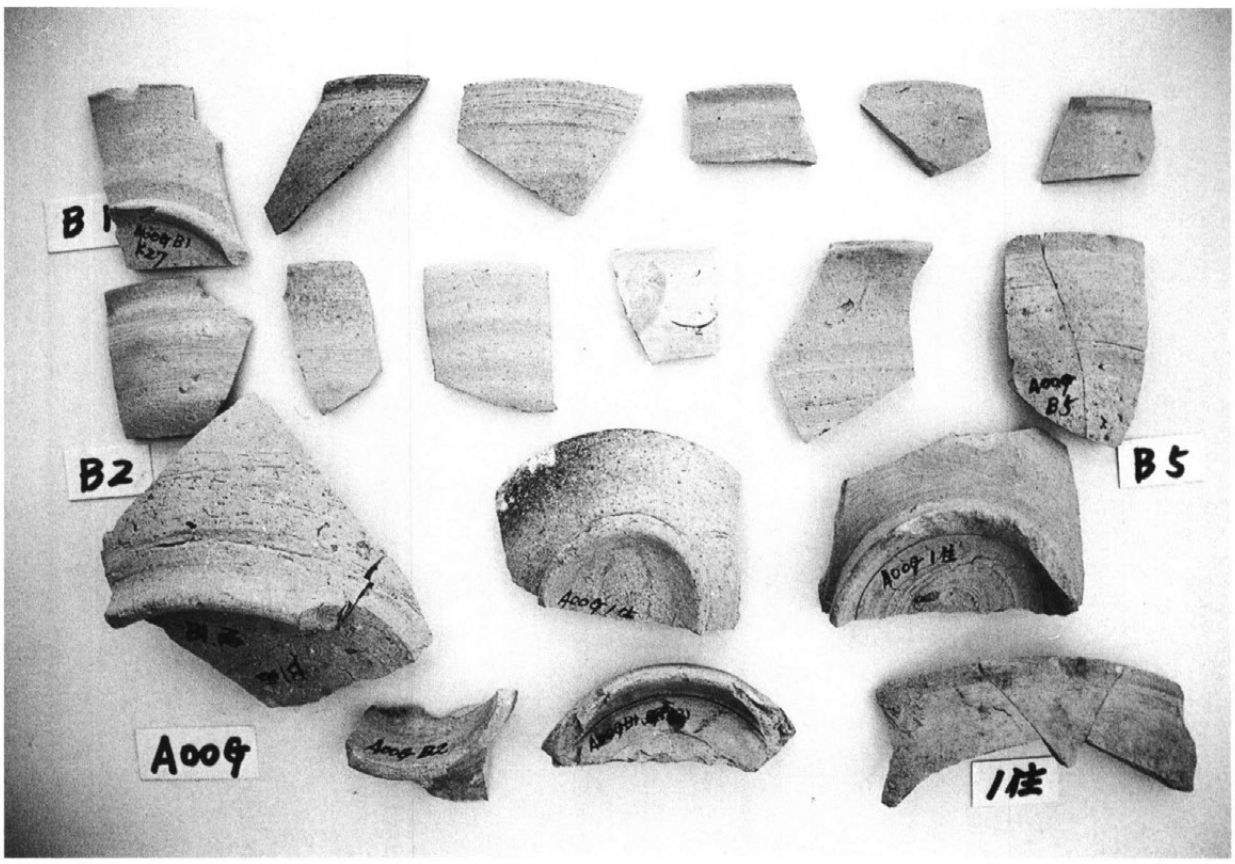


1．大垣外



2．川　畑

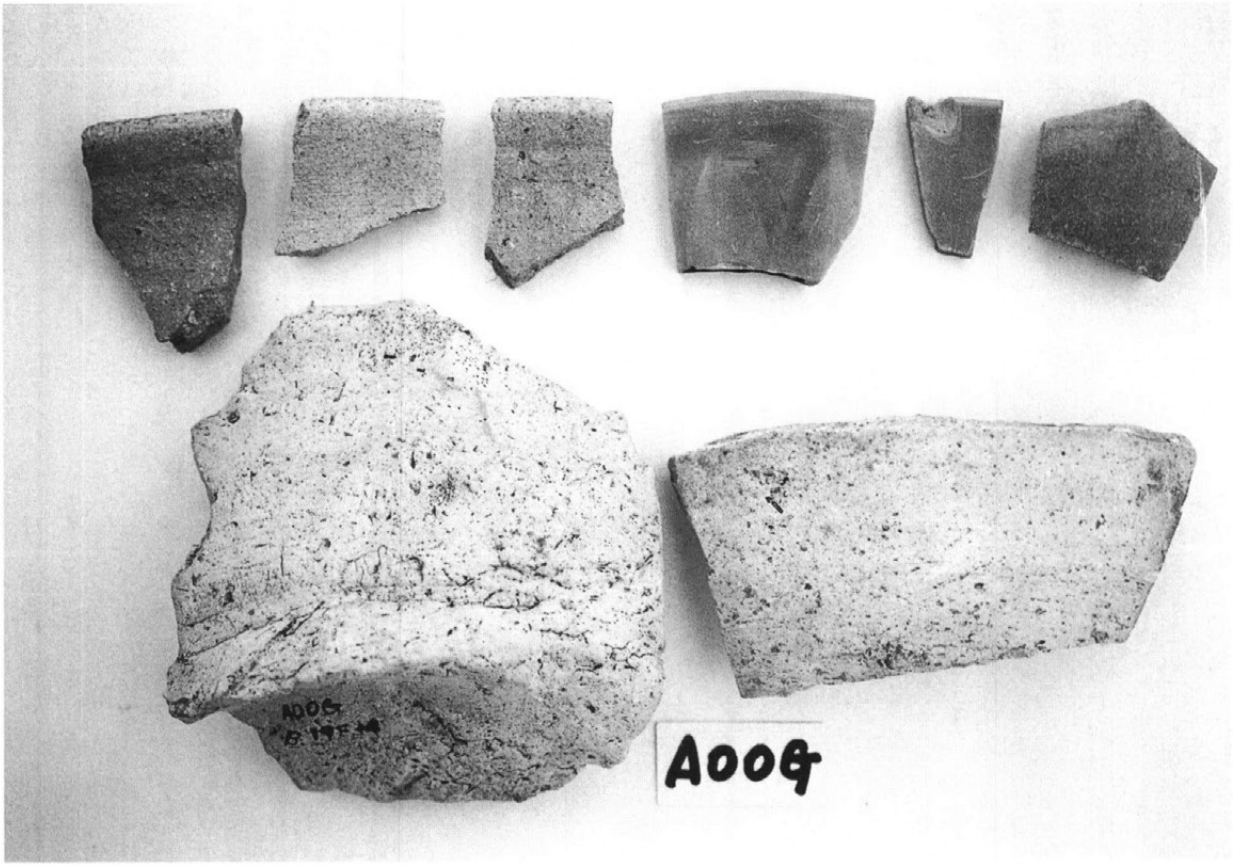
1．須恵器

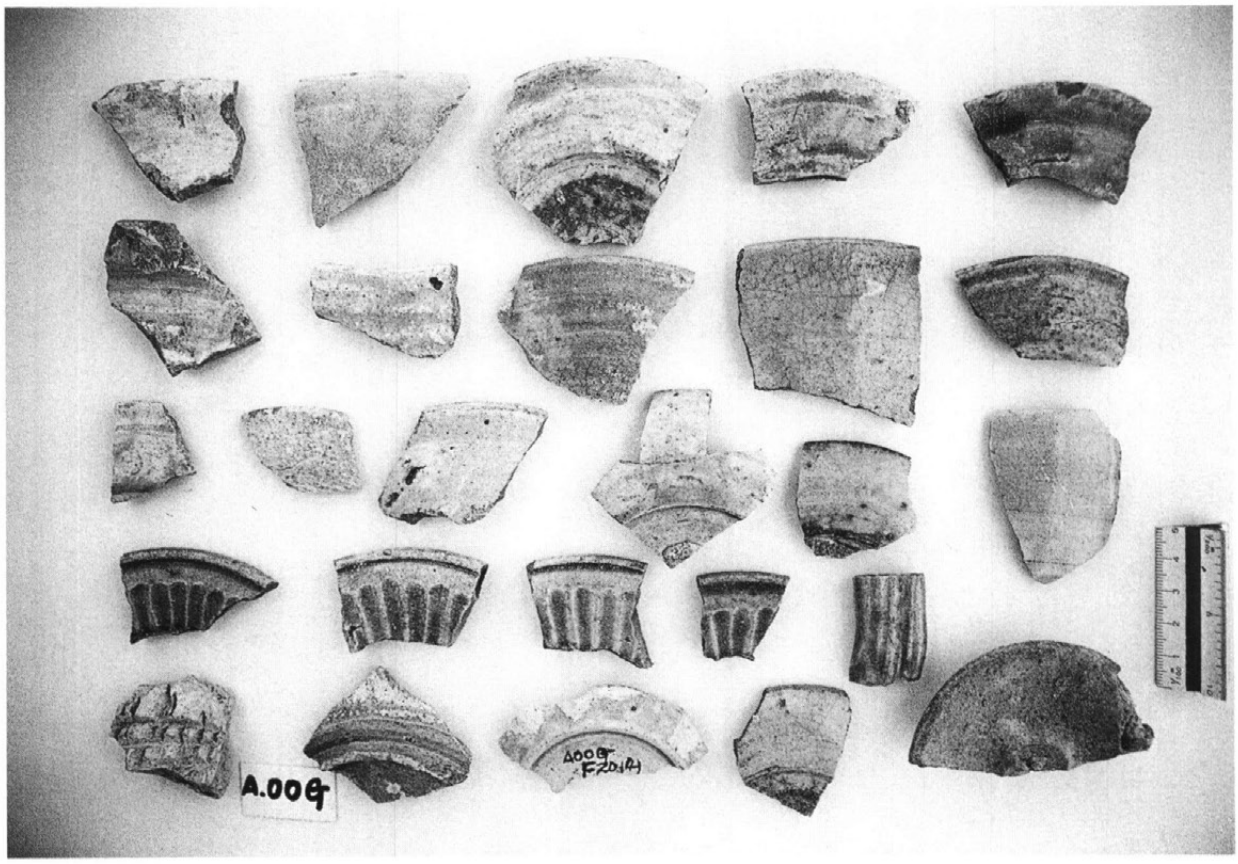


2．灰釉陶器

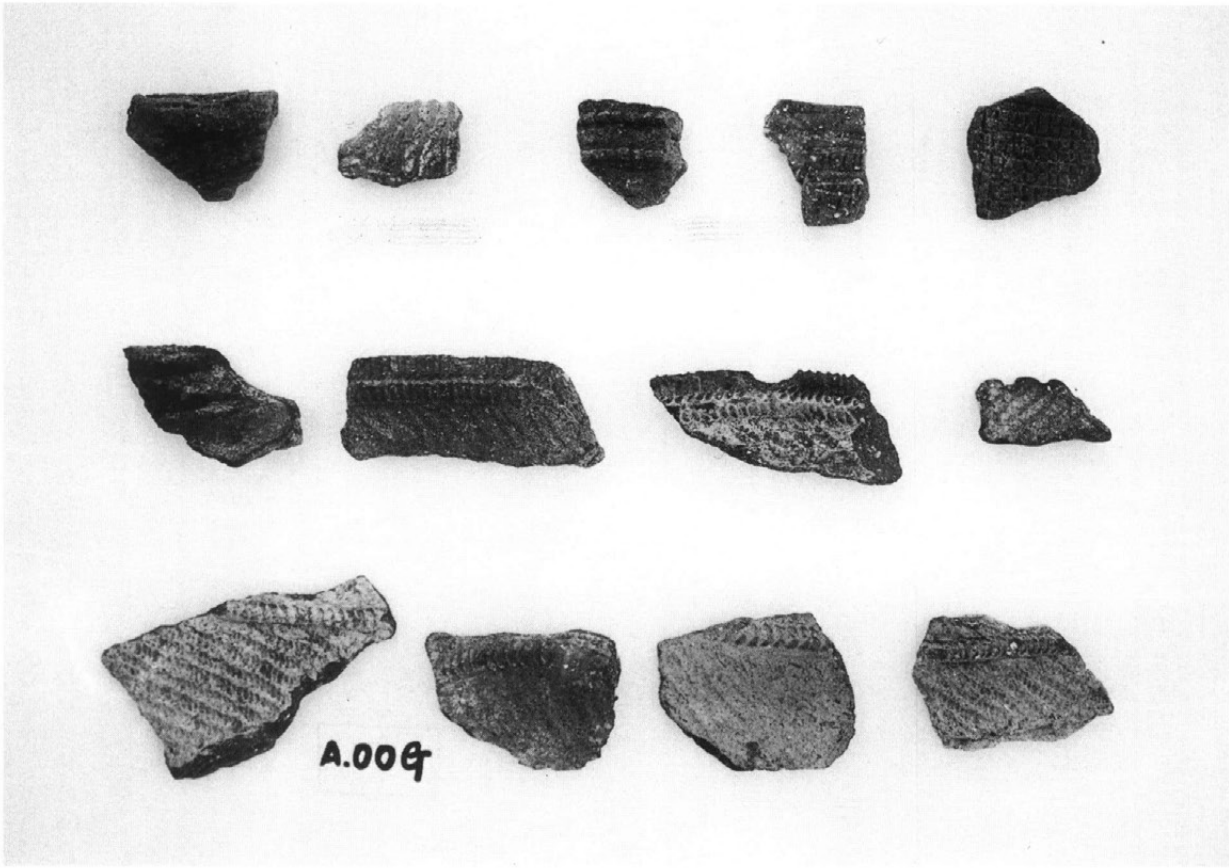
写図40　天目茶碗出土状況

写図41　青磁・山茶碗・古瀬戸

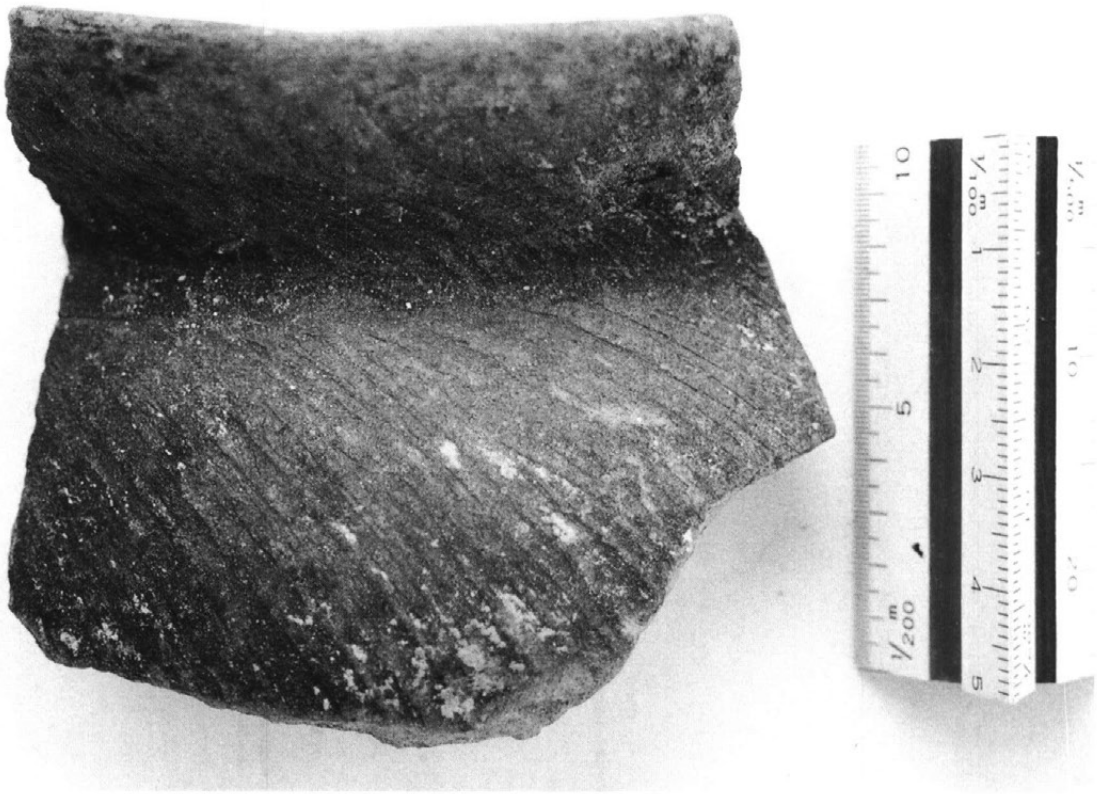




写図42　縄文時代前期・中期初頭土器片



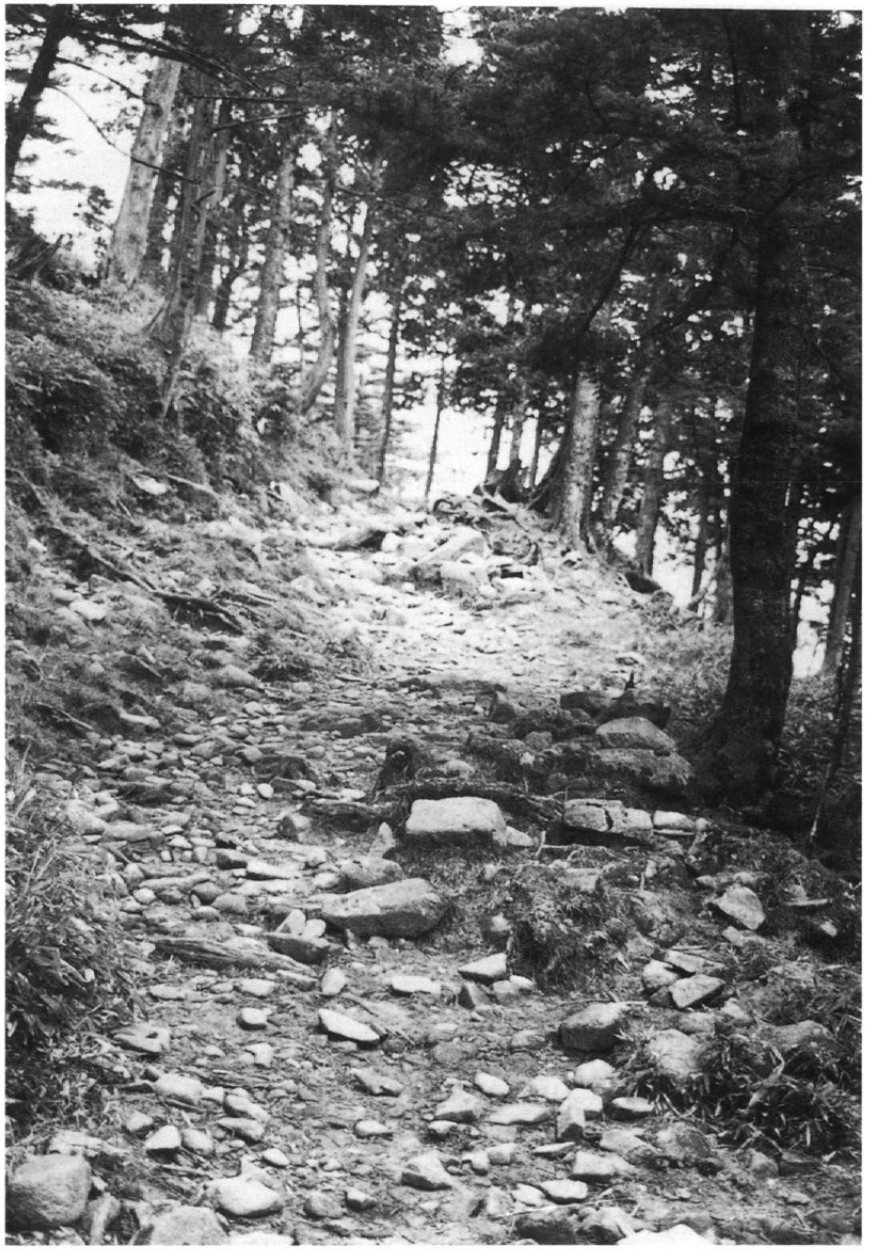
写図43　弥生時代中期土器片



写図44　神坂峠祭祀場（昭和四六年）

写図45　神坂峠西側と千本立の山道

神坂峠西側



千本立

写図46　園原・網掛山の遠望

写図47　杉ノ木平遺跡と児の宮遺跡（昭和四六年）

1．杉ノ木平遺跡（斜坑工事前）

2．朝日杉と児の宮遺跡

写図48　児の宮遺跡の遊歩道と園原の集落

写図49　網掛峠と山道

写図50　網掛峠から園原・神坂峠遠望、蛇瘤杉之碑

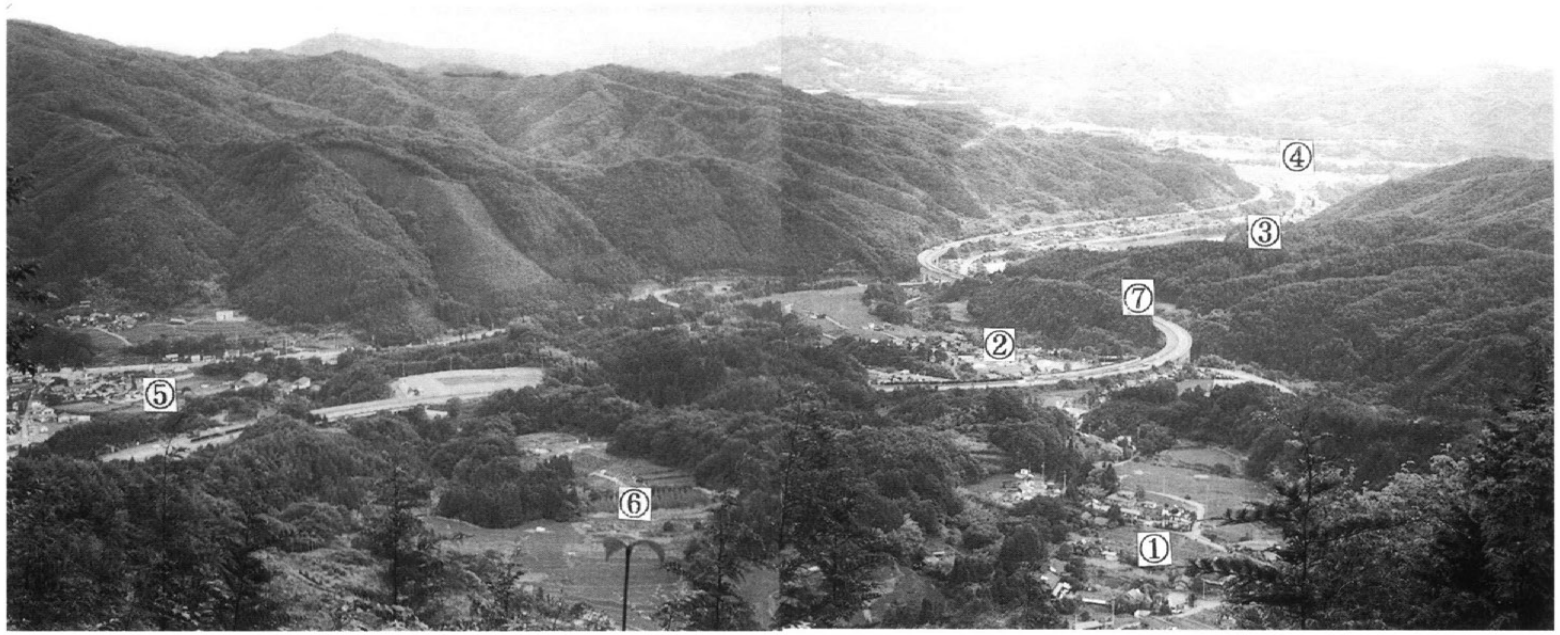
写図51　本沢頭の平場と石群

1．この平場で須恵器片を拾った

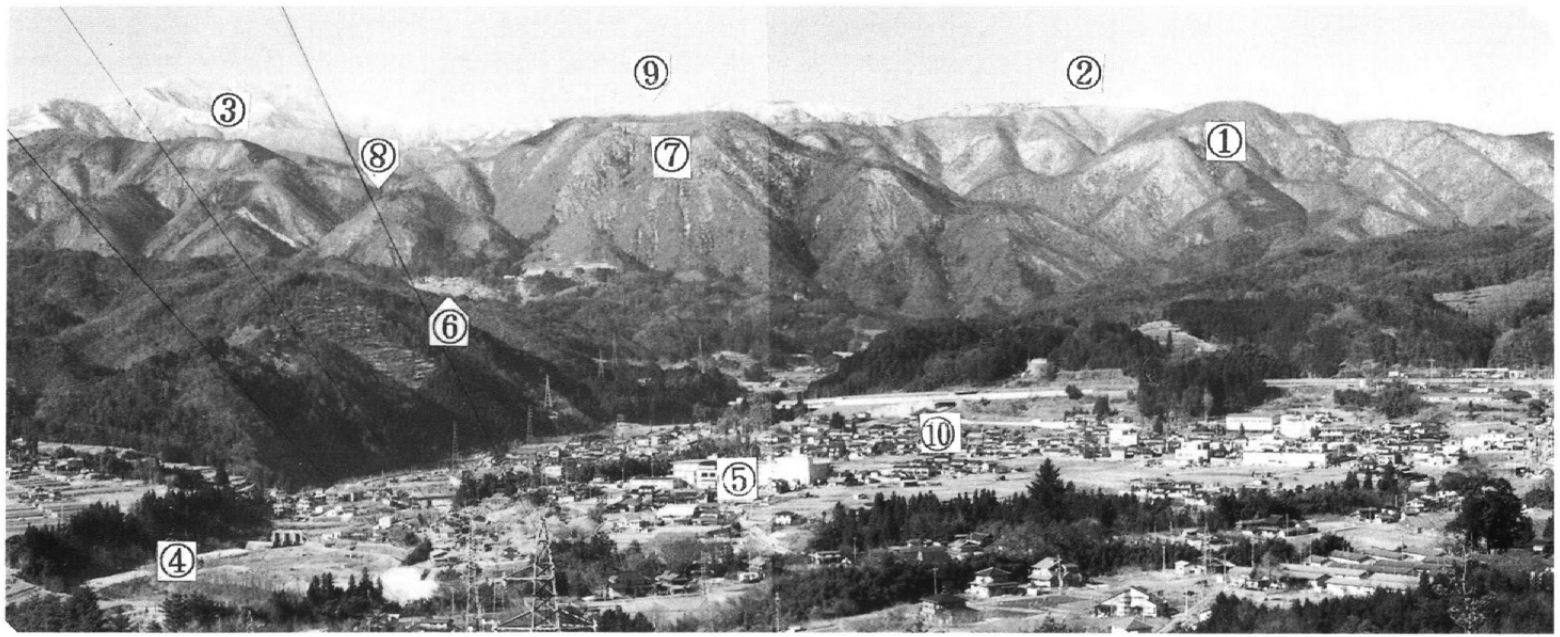
2．10数個の石群

写図52　網掛尾根道からの東方遠望

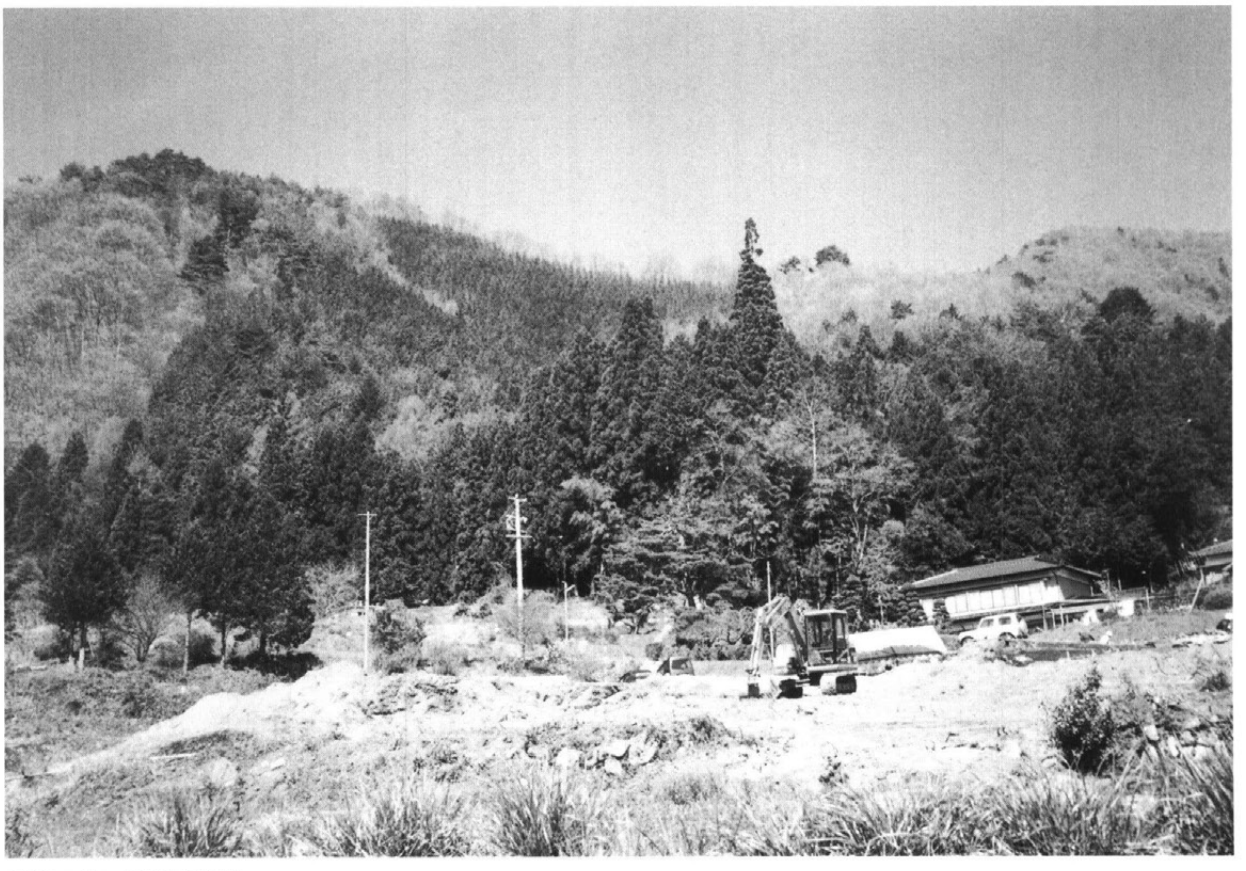
網掛山尾根道からの東方遠望
① 中平　② 下平　③ 駒場
④ 開田（阿智駅推定地前方の水田地帯）
⑤ 昼神　⑥ 鬼ヶ久保　⑦ 中央自動車道



西山（飯田市三穂）から西方を望む
① 夜烏山　② 神坂山　③ 恵那山　④ 阿知川
⑤ 駒場盆地　⑥ 中平（大垣外遺跡）　⑦ 網掛山
⑧ 網掛峠　⑨ 神坂峠（山陰）
⑩ 木戸脇（阿智駅推定地）



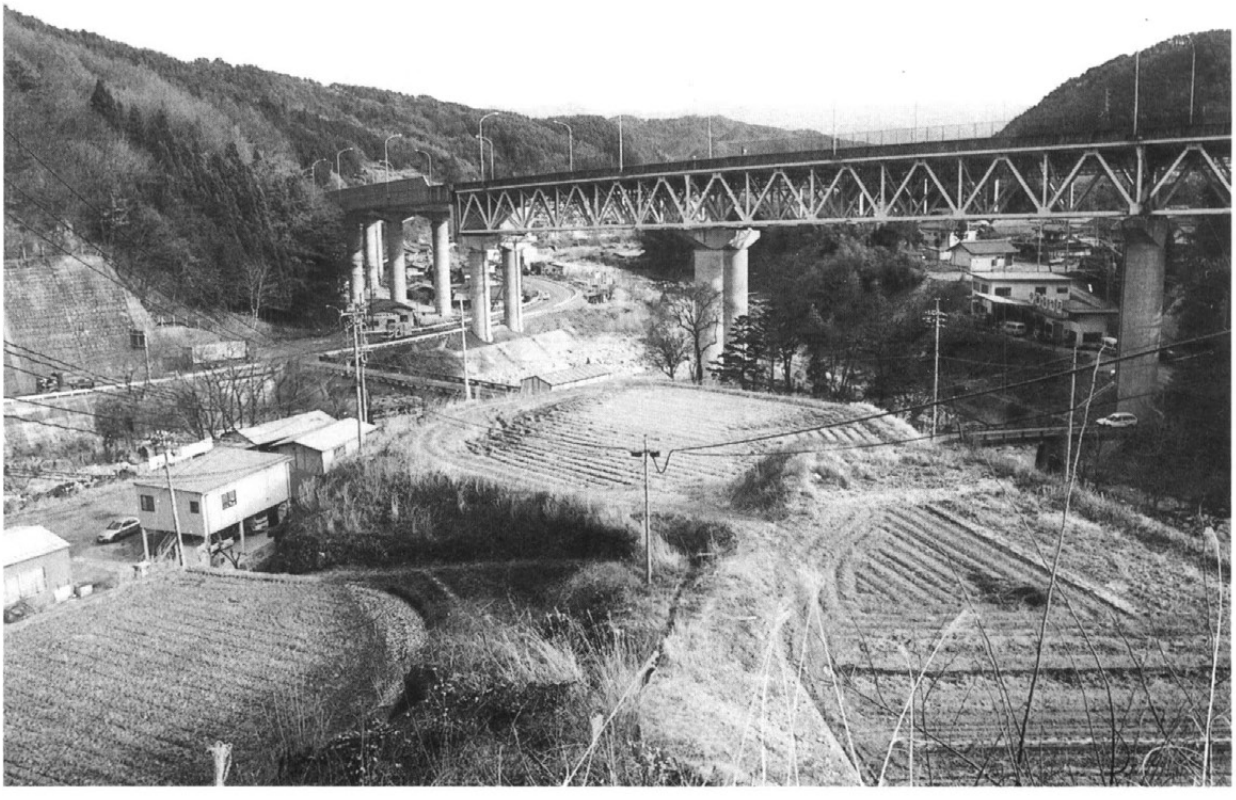
写図53　中平の集落と大垣外遺跡調査地



重機の奥、諏訪明神社

写図54　大平神社と富士石

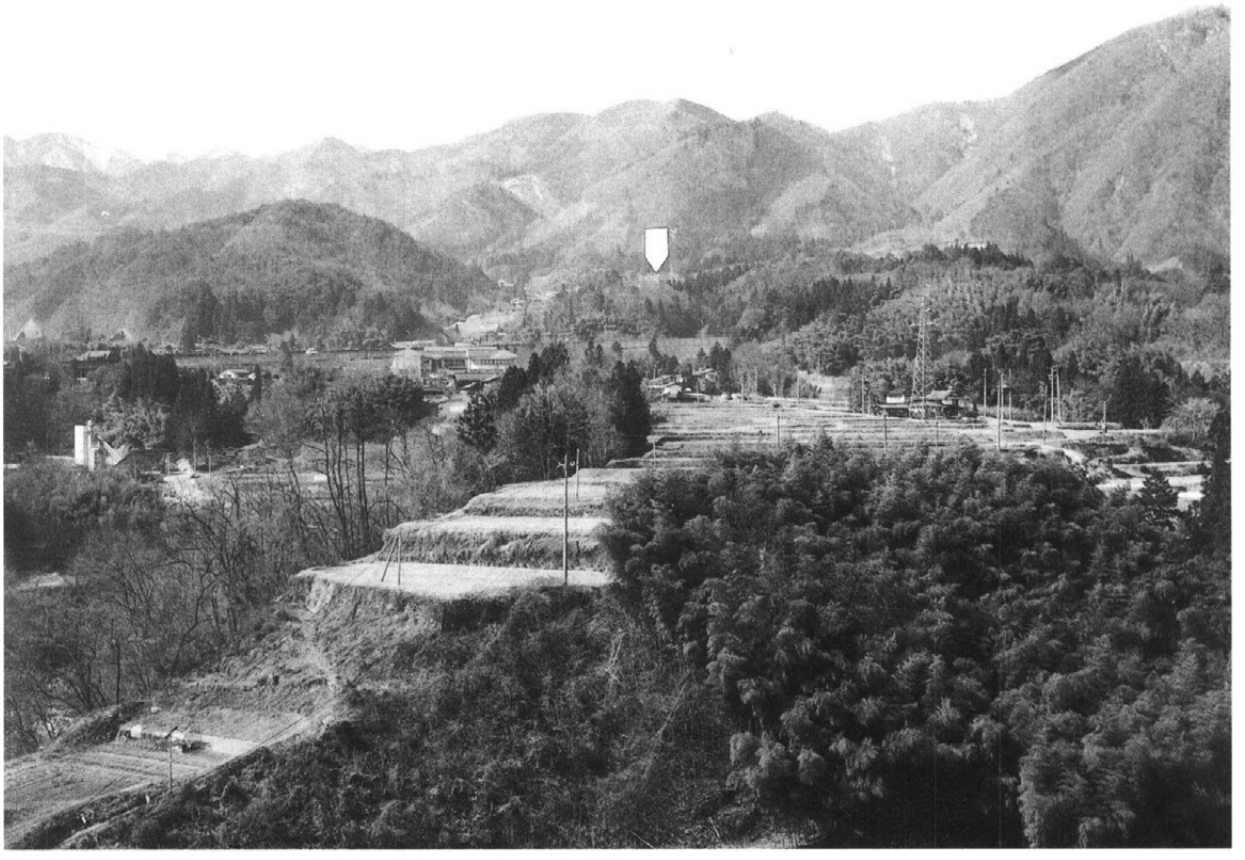
写図55　川畑遺跡と阿知川・大沢川合流地点



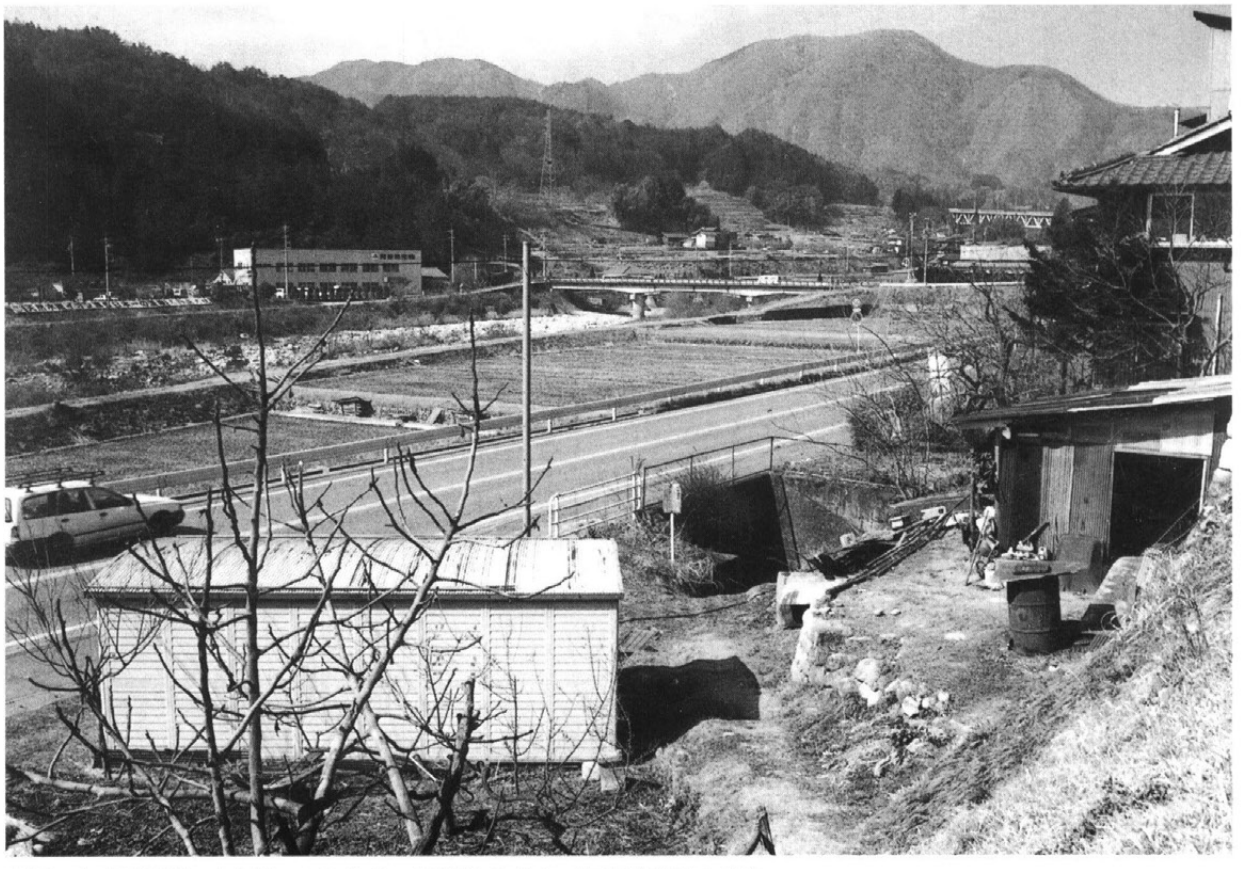
写図56　仏供田から網掛山遠望

仏供田から網掛山を尾根道は矢印地点へ出て右よりの尾根を＞状に大垣外へ出たと思われる。

写図57　駒場方面から網掛山遠望



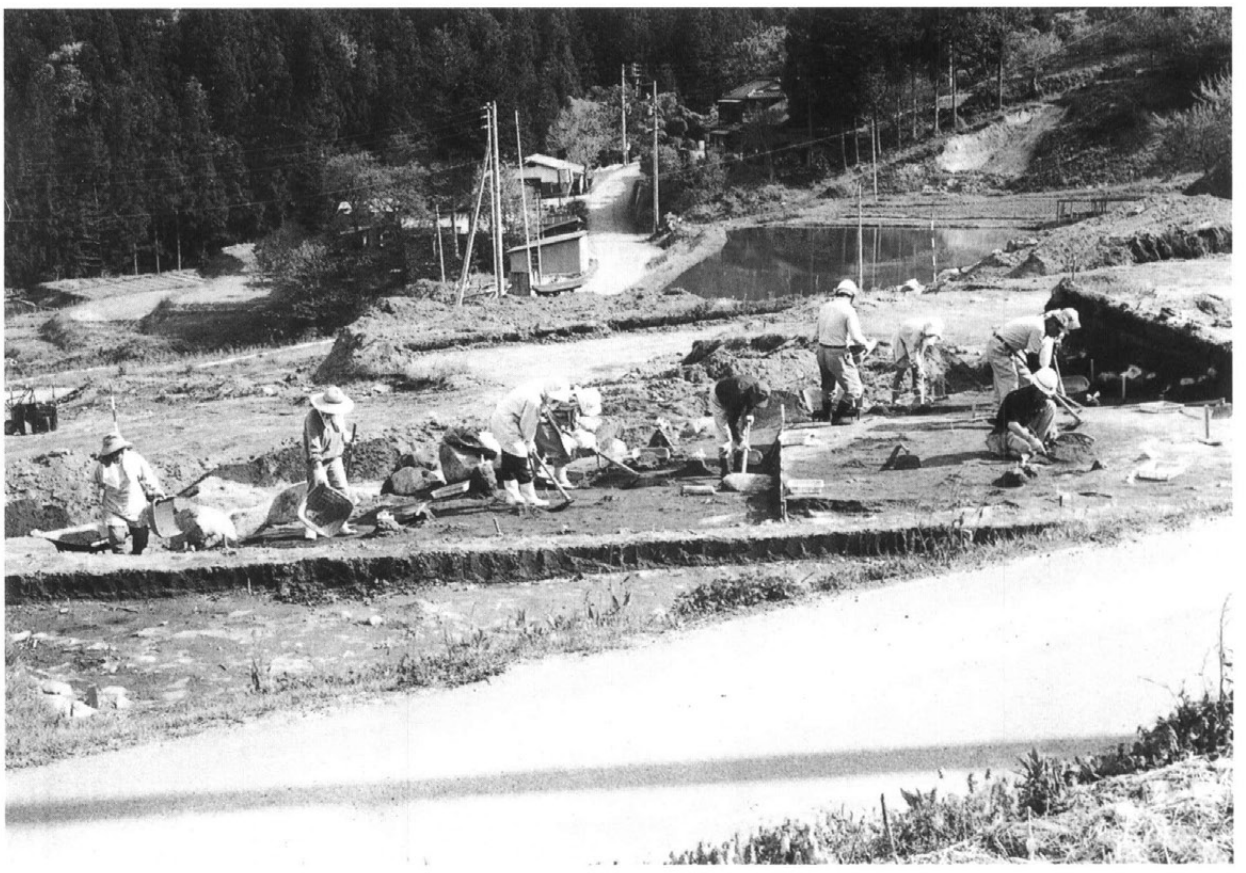
阿知・大沢川合流点付近から下平・大垣外（矢印）網掛峠遠望



駒場の伊那街道跡（手前）から曽山・網掛峠を望む（伊那街道渡河点）

写図58　阿智高校（中原遺跡）付近から大垣外遺跡遠望

阿智高校（中原遺跡）付近から大垣外遺跡遠望
① 恵那山　② 神坂峠　③ 網掛峠　④ 大垣外遺跡　⑤ 木戸脇（阿知駅推定地）



写図59　発掘調査風景

写図60　現地見学会

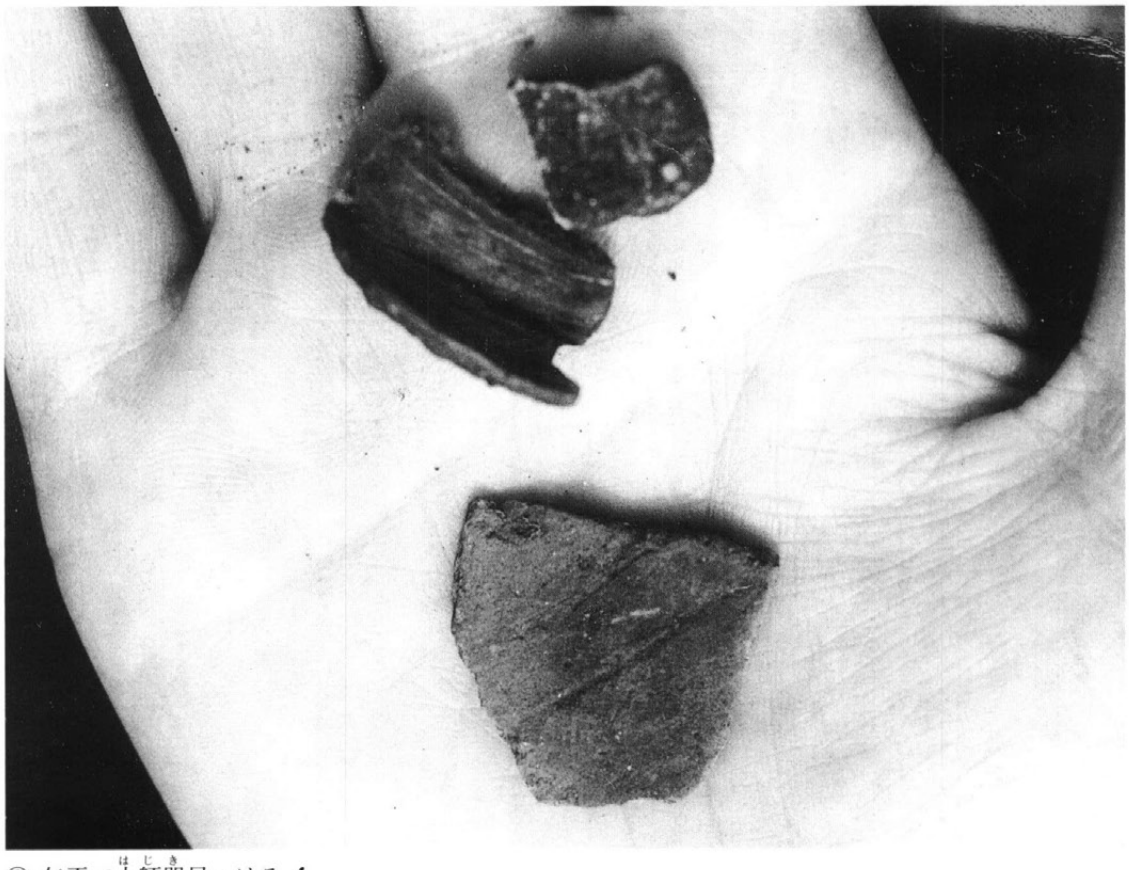
写図61　発掘調査に参加（阿智第三小）

写図62　縄文時代の土器が出た

写図63　阿智第三小学校の東山道探訪(1)

〈東山道探索〉（矢平〜園原インター）

① みんなで暑い中歩きました。



② 矢平で土師器見つける！

写図64　阿智第三小学校の東山道探訪(2)

③東山道　馬が通り5m程けずられる。

④“ふたばあおい”を見つける（小林昭治さんに教えていただく）。
関西方面にしか生息しない植物だそうです。ここに生息するということは関西方面より種が服について運ばれこぼれ落ちたものと推測できます。この道が関西から関東へぬける重要な道であったことが考えられます。

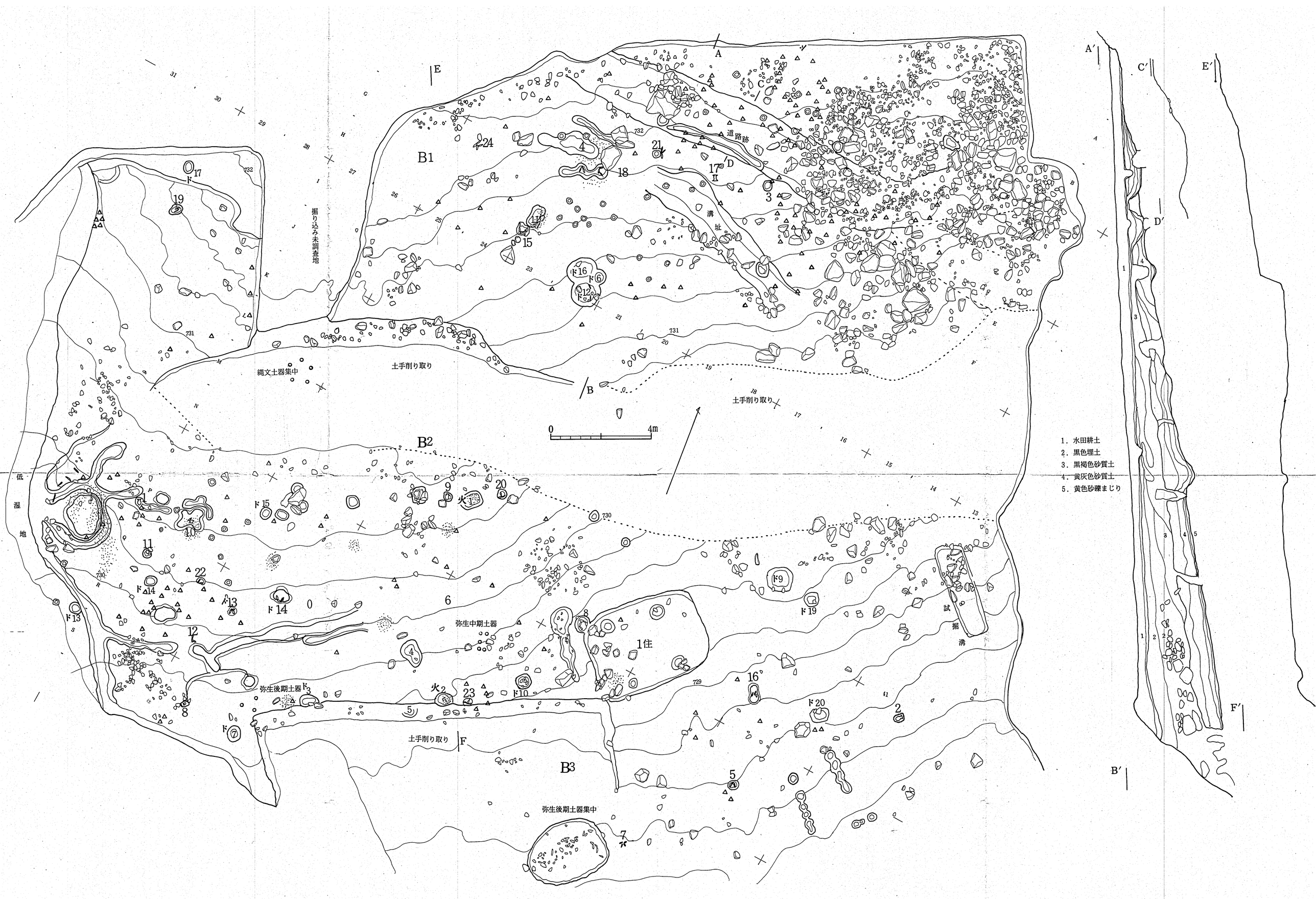
大　垣　外　遺　跡

阿智村埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

1999.3

長野県下伊那郡阿智村教育委員会

印刷所　（株）新　葉　社


B1
B2
B3
道路跡
溝址
掘り込み未調査地
縄文土器集中
土手削り取り
弥生中期土器
弥生後期土器
弥生後期土器集中
低湿地
試掘溝
1住
0
4m
1．水田耕土
2．黒色埋土
3．黒褐色砂質土
4．黄灰色砂質土
5．黄色砂礫まじり

第4図　遺構全体図